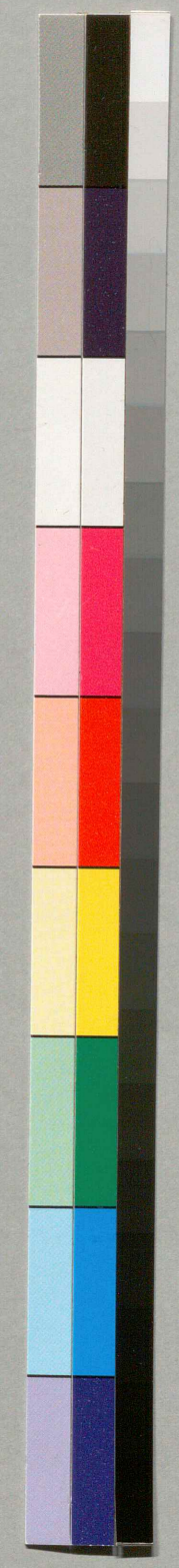


教育職員免許法に関する
説明及び科目認定一覧表

平成27年度生用



お茶の水女子大学
Ochanomizu University



目次

I. 本学で取得可能な免許状の種類・教科	1
1. 一種免許状	1
2. 専修免許状(参考)	2
II. 免許状取得の方法	3
1. 基礎資格および最低修得単位数	3
2. 教科・教職以外の科目	4
3. 幼稚園・小学校教諭一種免許状	5
(1) 教職に関する科目	5
(2) 教科に関する科目	6
4. 中学校・高等学校教諭一種免許状	7
(1) 教職に関する科目	7
(2) 教科に関する科目	9
5. 栄養教諭一種免許状	26
III. 介護等体験	27
IV. 教員免許状の授与	28
1. 大学一括申請	28
2. 個人申請	28
V. 教職課程履修スケジュール	29

I. 本学で取得可能な免許状の種類・教科

本学では、別表のとおり全ての学部で教員免許状が取得できるようになっており、それぞれの学科で学んだ専門科目を最も生かすことのできる免許状を取得できるようになっています。ですから、教員免許取得を希望する学生は、必ず所属学科の免許を取得してください。(グローバル文化学環に所属する学生は、副プログラムの学科の免許を取得することができます。)

1. 一種免許状

学部	学 科	免許状の種類及び教科		
		中学校一種	高等学校一種	その他の免許状の種類
文 教 育 学 部	人 文 科 学 科	社 会	地理歴史・公民	
	言 語 文 化 学 科 日本語・日本文学履修コース	国 語	国 語	
	中国語圏言語文化履修コース	中 国 語	中 国 語	
	英語圏言語文化履修コース	英 語	英 語	
学 部	人 間 社 会 科 学 科 社 会 コ ー ス	社 会	公 民	
	小学校・幼稚園コース			幼稚園一種 小学校一種
部	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 舞 踊 教 育 学 履 修 コ ー ス	保 健 体 育	保 健 体 育	
	音楽表現履修コース	音 楽	音 楽	
理 学 部	数 学 科	数 学	数 学	
	物 理 学 科	理 科	理 科	
	化 学 科	理 科	理 科	
	生 物 学 科	理 科	理 科	
部	情 報 科 学 科 数 学 コ ー ス	数 学	数 学	
	情 報 コ ー ス		情 報	
生 活 科 学 部	人 間 生 活 学 科 家 庭 コ ー ス	家 庭	家 庭	
	食 物 栄 養 学 科			栄養教諭一種

2. 専修免許状 (参考)

本学大学院では別表のとおり、専修免許状が取得できます。大学院で専修免許状の取得を希望する学生は、学部卒業時に一種免許状を取得しておく必要があります。

研究科	専攻	免許状の種類及び教科		
		中学校専修	高等学校専修	その他の免許状の種類
人間文化創成科学研究科	比較社会文化学専攻			
	国語コース	国語	国語	
	中国語コース	中国語	中国語	
	英語コース	英語	英語	
	社会コース	社会	地理歴史 公民	
	保健体育コース	保健体育	保健体育	
	音楽コース	音楽	音楽	
	家庭コース	家庭	家庭	
	人間発達科学専攻	教育職員免許法第4条第5項第1号に掲げる全ての教科(外国語は英語, 中国語に限る)	教育職員免許法第4条第5項第2号に掲げる全ての教科(外国語は英語, 中国語に限る)	幼稚園専修 小学校専修
	ジェンダー社会科学専攻			
博士前期課程	社会コース	社会	地理歴史 公民	
	家庭コース	家庭	家庭	
	ライフサイエンス専攻			
	家庭コース	家庭	家庭	
	理科コース	理科	理科	
	理学専攻			
	理科コース	理科	理科	
数学コース	数学	数学		
情報コース		情報		

II. 免許状取得の方法

1. 基礎資格および最低修得単位数

教員免許状の取得には、卒業・修了に必要な単位を修得して基礎資格を得る他に、別表のとおり関係法令が定める教職に関する科目等の修得が必要です。

また、小学校・中学校の教員免許状取得には、介護等体験が必要となります。(P.27「III. 介護等体験」を参照)

教育職員免許状の種類	基礎資格	教育職員免許法に定められた単位数				介護等体験
		教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	合計単位数	
教 中 学 校 論 校	専修 修士の学位を有すること。	20単位	31単位	32単位	83単位	*
	一種 学士の学位を有すること。	20単位	31単位	8単位	59単位	必要
校 高 等 学 論 学	専修 修士の学位を有すること。	20単位	23単位	40単位	83単位	
	一種 学士の学位を有すること。	20単位	23単位	16単位	59単位	
教 小 学 校 論 校	専修 修士の学位を有すること。	8単位	41単位	34単位	83単位	*
	一種 学士の学位を有すること。	8単位	41単位	10単位	59単位	必要
教 幼 稚 園 論 園	専修 修士の学位を有すること。	6単位	35単位	34単位	75単位	
	一種 学士の学位を有すること。	6単位	35単位	10単位	51単位	

注) ① 「修士の学位を有すること」には、大学の専攻科又は文部科学大臣の指定するこれに相当する課程に一年以上在学し、30単位以上修得した場合を含むものとする。

② 介護等体験の「*」は、既に小学校又は中学校の免許状を取得している者(取得要件を満たしている者を含む。)は不要。(P.27「III. 介護等体験」を参照)

③ 「教科又は教職に関する科目」は以下の科目が該当する。

- ・「日本語非母語話者年少者教育学概論」(2単位)
- ・「道徳教育の研究(中等)」(2単位) ※但し、高校の免許のみ該当
- ・上記表に記載された単位数を超えて取得した「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」

2. 教科・教職以外の科目

教育職員免許法では、教員免許状の取得には、前頁に定める教職関係の科目以外に、本学で開講されている日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション、情報機器の操作の単位修得が必要であると定められています。これらに該当する科目は以下のとおりですので、免許状取得希望者は忘れずに履修してください。

・日本国憲法 (2単位) 【コア科目・基礎講義】			
〔全学部〕	「法学Ⅰ (日本国憲法)」	2単位	必修
・体育 (2単位) 【コア科目・スポーツ健康概論】			
〔全学部〕	「スポーツ健康実習」	2単位	必修
・外国語コミュニケーション (4単位) 【コア科目・外国語】			
〔全学部〕	いずれかの言語において4単位修得すること。		
	「中級英語Ⅰ(1)(2)」	} 各1単位 計4単位	
	「中級英語Ⅱ(1)(2)」		
	「基礎ドイツ語Ⅲ」	} 各2単位 計4単位	
	「基礎ドイツ語Ⅳ」		
	「基礎フランス語Ⅲ」	} 各2単位 計4単位	
	「基礎フランス語Ⅳ」		
	「基礎中国語Ⅲ」	} 各2単位 計4単位	
	「基礎中国語Ⅳ」		
※理学部情報科学科に限り、上記の他に下記科目からの選択も可とする。			
	「基礎ドイツ語会話Ⅰ(1)(2)」	} 各1単位 計4単位	
	「基礎ドイツ語会話Ⅱ(1)(2)」		
	「ドイツ語初歩Ⅰ(1)(2)」	} 各1単位 計4単位	
	「ドイツ語初歩Ⅱ(1)(2)」		
	「基礎フランス語会話Ⅰ(1)(2)」	} 各1単位 計4単位	
	「基礎フランス語会話Ⅱ(1)(2)」		
	「フランス語初歩Ⅰ(1)(2)」	} 各1単位 計4単位	
	「フランス語初歩Ⅱ(1)(2)」		
	「基礎中国語会話Ⅰ(1)(2)」	} 各1単位 計4単位	
	「基礎中国語会話Ⅱ(1)(2)」		
	「中国語初歩Ⅰ(1)(2)」	} 各1単位 計4単位	
	「中国語初歩Ⅱ(1)(2)」		
・情報機器の操作 (2単位) 【コア科目・情報】			
〔全学部〕	「情報処理演習(1)(2)」	計2単位	必修
	「情報処理学(1)(2)」	計2単位	選択

但し、留学生特別科目の単位振替による充足は認められない。

3. 幼稚園・小学校教諭一種免許状

(1) 教職に関する科目

教職に関する科目	左記各科目に含めることが必要な事項	免許状の種類及び認定科目・単位				備考
		幼稚園教諭		小学校教諭		
教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修、 服務及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各種の 機会の提供等	2 単位	各1 計2 単位	2 単位	各1 計2 単位	
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育 に関する歴史及び思想 幼児、児童及び生徒の 心身の発達及び学習の 過程(障害のある幼児、 児童及び生徒の心身の 発達及び学習の過程を 含む。)	8 単位	各1 計4 単位	各1 計4 単位	各1 計4 単位	
	教育に関する社会的、 制度的又は経営的事項		2 各1 単位	2 各1 単位	2 各1 単位	いずれか2単位 選択
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編 成の方法 各教科の指導法 道徳の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の 活用を含む。)			26 単 位	2 18 2 2 2	
	教育課程の意義及び編 成の方法		2			
	保育内容の指導法	20 単 位	2 2 2 2 2 2 2 2			
	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の 活用を含む。)		2			
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方 法 教育相談(カウンセリング に関する基礎的な 知識を含む。)の理論及 び方法 進路指導の理論及び方 法 幼児理解の理論及び方 法 教育相談(カウンセリング に関する基礎的な 知識を含む。)の理論及 び方法	2 単位		4 単 位	各1 計2 単位 2	
教育実習		5 単位	1 5 単位	1 5 単位	1 4 単位	
教職実践演習		2 単位	2 単位	2 単位	2 単位	

注) 1. 当該単位は、教職概論(1)(2)、事前・事後指導及び教育実習、教職実践演習を除き、文教育学部は10単位まで、理学部は6単位まで、生活科学部は14単位まで、卒業所要単位(124単位—ただし食物栄養学科は138単位)に含めることができる。

2. 幼稚園教諭では、37単位を修得する他、教科又は教職に関する科目を10単位修得すること。(P.3③参照)

3. 小学校教諭では、45単位を修得する他、教科又は教職に関する科目を10単位修得すること。(P.3③参照)

4. 小学校教材研究(*)は、9教科(国語・社会・算数・理科・生活・音楽・図画工作・家庭・体育)18単位をすべて修得すること。

5. 教職実践演習は、卒業前に、取得予定の免許種の教員としての資質・能力を最終確認する目的で設置された授業である。よって、4年次後期に校種・免許種によってクラスが指定され、演習・実習形式で行われる。教職実践演習を履修し単位が与えられないと教員免許状の取得はできないので、掲示等の案内・指示に従い、履修には十分注意すること。

◎「保育内容の指導法」の単位のうち半数までは、下記のとおり小学校教諭の1種免許状の授与を受ける場合の教科の指導法の単位を充てることができる。但し、小学校教諭1種免許状の取得要件を満たしている場合に限る。

小学校教材研究(音楽)	……	保育表現II(指導法)
〃(図工)	……	保育表現I(指導法)
〃(体育)	……	保育内容・健康

(2) 教科に関する科目

教科に関する科目		免許状の種類及び認定科目・単位				
		幼稚園教諭		小学校教諭		
〔幼稚園〕 必修6単位	国語(書写を含む)	必 修	国語科教育論	1	国語科教育論	1
	社会				社会科教育論	1
	算数		算数科教育論	1	算数科教育論	1
	理科				理科教育論	1
〔小学校〕 必修8単位	生活	6 単 位	生活科教育論	1	生活科教育論	1
	家庭				家庭科教育論	1
	音楽		◎教職音楽実技I	1	◎教職音楽実技I	1
			◎教職音楽実技II	1	◎教職音楽実技II	1
	図画工作		図工科教育論	1	図工科教育論	1
体育	体育実技	1	体育実技	1		

◎印はその科目の中の必修科目。

注) 社会・理科・家庭は、小学校教諭のみの認定単位となる。

4. 中学校・高等学校教諭一種免許状

(1) 教職に関する科目

教職に関する科目	免許状の種類及び認定科目・単位				備考					
	中学校教諭		高等学校教諭							
教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修、 サービス及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各種の 機会の提供等	2 単 位	教職概論(1)(2)	各 1 計 2	2 単 位	教職概論(1)(2) 各 1 計 2					
						教育の理念並びに教育に 関する歴史及び思想	教育原論(思想・歴史)(1)(2)	各 1 計 2	教育原論(思想・歴史)(1)(2)	各 1 計 2
							幼児、児童及び生徒の心 身の発達及び学習の過程 (障害のある幼児、児童 及び生徒の心身の発達及 び学習の過程を含む。)	教育心理	2	教育心理
教育に関する社会的、制 度的又は経営的事項		教育原論(社会・制度)(1)(2)	各 1 計 2	教育原論(社会・制度)(1)(2)	各 1 計 2					
教育課程 及び指導 法に関する 科目	12 単 位	教育課程の意義及び編成 の方法	教育課程論	2	教育課程論	2				
		各教科の指導法	*各教科教育法	4	*各教科教育法	4				
		道徳の指導法(中)	道徳教育の研究 (中等)	2						
		特別活動の指導法	特別活動の研究 (中等)	2	特別活動の研究 (中等)	2				
教育の方法及び技術(情 報機器及び教材の活用を 含む。)		教育方法論	2	教育方法論	2					
生徒指導、 教育相談 及び進路 指導等に 関する科 目	4 単 位	生徒指導の理論及び方法	生徒指導の研究 (中等)(1)(2)	各 1 計 2	生徒指導の研究 (中等)(1)(2)	各 1 計 2				
		教育相談(カウンセリング に関する基礎的な知識 を含む。)の理論及び方 法	学校カウンセリング (中等)	2	学校カウンセリング (中等)	2				
		進路指導の理論及び方法								
教育実習	5 単 位	事前・事後指導 教育実習	1 4	3 単 位	事前・事後指導 教育実習	1 2				
教職実践演習	2 単 位	教職実践演習 (教諭)	2	2 単 位	教職実践演習 (教諭)	2				
合計	31 単 位			27 単 位						

注) 1. 当該単位は、教職概論(1)(2)、事前・事後指導及び教育実習、教職実践演習を除き、文教育学部は10単位まで、理学部は6単位まで、生活科学部は14単位まで、卒業所要単位(124単位、ただし食物栄養学科は138単位)に含めることができる。

2. 中学校教諭では、31単位を修得する他、教科又は教職に関する科目を8単位修得する必要がある。

3. 高等学校教諭では、27単位を修得する他、教科又は教職に関する科目を16単位修得する必要がある。また、「道徳教育の研究(中等)」を修得した場合は教科又は教職に関する科目の単位となる。(P.3③参照)

◎ 高等学校では、教育職員免許法では「教育課程及び指導法に関する科目」の必要単位数が6単位(合計23単位)となっているが、「各科目に含めることが必要な事項」を全て網羅する必要があるため、本学では10単位(合計27単位)修得する必要がある。

4. 教育実習（事前・事後指導を含む）は、**実習希望教科の教科教育法Ⅰ・Ⅱを第3年次（一部第2年次の科目もあり）に修得していなければ、履修できない。**

各教科教育法（*）の内訳は以下のとおりで、各教科毎に各々ⅠとⅡ（各2単位）の2科目4単位を修得すること。なお、高等学校の地理歴史は「社会科教育法Ⅰ（地理歴史）」と「地理歴史科教育法」、公民は「社会科教育法Ⅱ（公民）」と「公民科教育法」を、それぞれ修得すること。

教科	修得すべき科目（必修4単位，選択4単位）
社会	社会科教育法Ⅰ（地理歴史）*1，社会科教育法Ⅱ（公民），社会科教育法Ⅲ*3，社会科教育法Ⅳ*3
地理歴史	社会科教育法Ⅰ（地理歴史）*1，地理歴史科教育法
公民	社会科教育法Ⅱ（公民），公民科教育法
国語	国語科教育法Ⅰ，国語科教育法Ⅱ，国語科教育法Ⅲ*3，国語科教育法Ⅳ*3
中国語	中国語科教育法Ⅰ，中国語科教育法Ⅱ，中国語科教育法Ⅲ*3，中国語科教育法Ⅳ*3
英語	英語科教育法Ⅰ，英語科教育法Ⅱ，英語科教育法Ⅲ*3，英語科教育法Ⅳ*3
保健体育	保健体育科教育法Ⅰ，保健体育科教育法Ⅱ，保健体育科教育法Ⅲ*3，保健体育科教育法Ⅳ*3
音楽	音楽科教育法Ⅰ，音楽科教育法Ⅱ，音楽科教育法Ⅲ*3，音楽科教育法Ⅳ*3
数学	数学科教育法Ⅰ，数学科教育法Ⅱ，数学科教育法Ⅲ*3，数学科教育法Ⅳ*3
理科	理科教育法Ⅰ，理科教育法Ⅱ，理科教育法Ⅲ*3，理科教育法Ⅳ*3
情報	情報科教育法Ⅰ*2，情報科教育法Ⅱ*2
家庭	家庭科教育法Ⅰ，家庭科教育法Ⅱ，家庭科教育法Ⅲ*3，家庭科教育法Ⅳ*3

- ※1 社会科教育法Ⅰ（地理歴史）のみ，2年次後期に開講する。
- ※2 情報科教育法は，ⅠとⅡを隔年で交互に開講するので，2年次と3年次に修得すること。
- ※3 各教科教育法のⅢとⅣは選択科目である。（教育実習の履修要件ではない。）

5. 教職実践演習は，卒業前に，取得予定の免許種の教員としての資質・能力を最終確認する目的で設置された授業である。よって，4年次後期に校種・免許種によってクラスが指定され，演習・実習形式で行われる。教職実践演習を履修し単位が与えられないと教員免許状の取得はできないので，掲示等の案内・指示に従い，履修には十分注意すること。

6. 人間社会科学科所属学生は，下表左欄の本学の認定科目を履修する代わりに，それぞれ右欄の人間社会科学科の科目を履修すること。

本学の認定科目	人間社会科学科の科目
教育原論（思想・歴史）(1)(2)	{ 教育思想概論(1)(2) 教育史概論(1)(2)
教育原論（社会・制度）(1)(2)	※教育制度概論 ※教育社会学概論(1)(2)
教育方法論	教育方法学概論（中等）

※は少なくともいずれか1科目2単位を履修すること。

(2) 教科に関する科目

◎ 文教育学部

免許状の種類	中学校教諭一種免許状	免許教科	社会
--------	------------	------	----

人文科学科

科目区分	単位	本学認定授業科目及び単位	備考
社会（必修二〇単位以上・教科又は教職に関する科目八単位以上）	1以上	◎日本史概説(2) ◎日本文化史概説(2) ◎アジア史概説(2) ◎西洋史概説(2)	
		比較文化史(2) 日本近代史料演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 西洋政治史料演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 史跡調査(2)	
		比較社会史(2) 日本近代史料演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 西洋社会史料演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 歴史文獻講義Ⅰ・Ⅱ(各2)	
		日本史入門講義(2) 東アジア史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 西洋社会経済史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 都市社会学(2)	
		外国史入門講義Ⅰ・Ⅱ(各2) 西アジア史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 西洋政治史(2) 歴史情報論(2)	
		グローバル・ヒストリー(2) 比較アジア史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 西洋社会経済史(2) 比較女性史(2)	
		日本古代中世文化史(2) 東アジア史料演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 西洋社会史(2) 比較家族史(2)	
		日本近世近代文化史(2) 西アジア史料演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 西洋中世史(2) 歴史人類学(2)	
		日本古代中世特殊講義(2) 比較アジア史料演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 西洋近世史(2) 西洋美術史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(各2)	
		日本近世近代特殊講義(2) 東アジア政治史(2) 西洋近現代史(2) 西洋美術史ⅡⅠ・Ⅱ・Ⅲ(各2)	
日本近代中世政治史(2) 東アジア社会経済史(2) フランス史(2) 東洋美術史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(各2)			
日本近代中世社会経済史(2) 西アジア社会経済史(2) ドイツ史(2) 美術史演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(各4)			
日本近世近代社会経済史(2) 東アジアの歴史と文化(2) イギリス史(2) 形象分析学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(各4)			
日本古代史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 西アジアの歴史と文化(2) 古文書学(2) 美術史特殊講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(各4)			
日本中世史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 比較アジア社会史Ⅰ・Ⅱ(各2) 歴史史料学(2) 形象分析学特殊講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(各4)			
日本近代史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 比較アジア文化史Ⅰ・Ⅱ(各2) 日本史論文講義(2)			
日本近代史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 西洋政治史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 外国史論文講義(2)			
日本古代史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 西洋社会史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 考古学通論Ⅰ・Ⅱ(各2)			
日本中世史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 西洋社会経済史演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 歴史考古学(2)			
◎都市と自然(2) ◎自然と人間(2) ◎地誌学(2)			
人間と空間(2) 測量学(2) 自然地理学Ⅰ(2) 都市・福祉地理学演習Ⅰ・Ⅱ(各2)			
地理学英書講義(2) 環境地理学基礎演習(4) 社会地理学演習(2) 地理環境学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(各2)			
地図学(2) 人文地理学基礎演習(4) 地理学フィールドワークA(2)			
社会地理学(2) 地域分析学演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 地理学フィールドワークB(2)			
自然地理学(2) 環境地理学演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 地理学フィールドワーク演習(2)			
法学総論Ⅰ・Ⅱ(各2) 政治学総論Ⅰ・Ⅱ(各2) いずれかの総論を選択（選択した総論のⅠ・Ⅱ両方とも取ること）	人間社会科学科科目		
国際関係論(2) 国際機構論(2) 国際協力方法論Ⅰ(2)	グローバル文化学履修科目		
国際開発論Ⅰ(2) 国際協力学(2) 平和構築論Ⅰ(2)			
社会学通論Ⅰ・Ⅱ(各2) 経済学通論Ⅰ・Ⅱ(各2) いずれかの通論を選択（選択した通論のⅠ・Ⅱ両方とも取ること）			
経済地理学(2) 都市地理学(2)			
グローバル化と経済(2)			
哲学概論Ⅰ・Ⅱ(各2) 倫理学概論Ⅰ・Ⅱ(各2) いずれかの概論を選択（選択した概論のⅠ・Ⅱ両方とも取ること）			
概念分析論演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 倫理学演習A(4) 日本倫理思想史資料講義(4)			
理論分析論演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 倫理学演習B(4) 西洋倫理思想史資料講義(4)			
問題分析論演習Ⅰ・Ⅱ(各2) 倫理学特殊講義AⅠ・Ⅱ(各2) 日本倫理思想史研究(2)			
哲学AⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(各2) 倫理学特殊講義BⅠ・Ⅱ(各2) 西洋倫理思想史研究(2)			
哲学BⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(各2) 倫理思想史演習A(4) 倫理学研究(2)			
日本倫理思想史Ⅰ・Ⅱ(各2) 倫理思想史演習B(4) 宗教と倫理学(2)			
西洋倫理思想史Ⅰ・Ⅱ(各2) 倫理思想史特殊講義AⅠ・Ⅱ(各2) 生命と倫理学(2)			
哲学演習AⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(各2) 倫理思想史特殊講義BⅠ・Ⅱ(各2) 日本の社会と文化(2)			
哲学演習BⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(各2) 倫理学研究指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(各2)			
哲学演習CⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(各2) 倫理学資料講義(4)			

◎は教職必修科目

免許状の種類 高等学校教諭一種免許状 免許教科 地理歴史

人文科学科

科目区分			本学認定授業科目及び単位				備考
免許教科	教科に関する科目	単位					
地理歴史 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する 科目十六単位以上)	日本史	1	◎日本史概説(2) ◎日本文化史概説(2)				
		以	比較文化史 (2)	日本近世近代政治史 (2)	日本古代史料演習 I・II(各2)	古文書学 (2)	
		上	日本史入門講読 (2)	日本古代中世社会経済史 (2)	日本中世史料演習 I・II(各2)	歴史史料学 (2)	
外国史		1	◎アジア史概説(2) ◎西洋史概説(2)				
		以	比較社会史 (2)	比較アジア社会史論 I・II(各2)	フランス史 (2)		
		上	外国史入門講読 I・II(各2)	比較アジア文化史論 I・II(各2)	ドイツ史 (2)		
人文地理学 及び 自然地理学		1	◎都市と自然(2) ◎自然と人間(2) ◎地 図 学(2)				
		以	人間と空間 (2)	測量学 (2)	自然地理学演習 I (2)	都市・福祉地理学演習 I・II(各2)	
		上	地理学英書講読 (2)	環境地理学基礎演習 (4)	社会地理学演習 (2)	地理環境学演習 II・III・IV(各2)	
地 誌		1	◎地 誌 学(2)				
		以	地理環境学演習 I(2)				

◎は教職必修科目

免許状の種類 高等学校教諭一種免許状 免許教科 公民

人文科学科

科目区分			本学認定授業科目及び単位				備考
免許教科	教科に関する科目	単位					
公民 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する 科目十六単位以上)	「法学(国際法を 含む。),政治学(国 際政治を含む。)」	1	◎法学総論 I(2) ◎法学総論 II(2)				人間社会 科学科目 グローバル 文化学環科目
		以	◎政治学総論 I(2) ◎政治学総論 II(2)				
		上	国際関係論(2) 国際協力学(2) 国際協力方法論 I(2) 平和構築論 I(2) 国際開発論 I(2) 国際機構論(2)				
「社会学,経済学 (国際経済を含 む。)」		1	◎社会学通論 I(2) ◎社会学通論 II(2)				
		以	◎経済学通論 I(2) ◎経済学通論 II(2)				
		上	経済地理学(2) グローバル化と経済(2) 都市地理学(2)				
「哲学,倫理学, 宗教学,心理学」		1	◎哲学概論 I(2) ◎哲学概論 II(2)				
		以	◎倫理学概論 I(2) ◎倫理学概論 II(2)				
		上	概念分析論演習 I・II (各2) 倫理思想史特殊講義 A I・II (各2) 理論分析論演習 I・II (各2) 倫理思想史特殊講義 B I・II (各2) 問題分析論演習 I・II (各2) 倫理学研究指導 I・II・III(各2) 哲学 A I・II・III・IV(各2) 倫理学資料講読 (4) 哲学 B I・II・III・IV(各2) 日本倫理思想史資料講読 (4) 日本倫理思想史 I・II (各2) 西洋倫理思想史資料講読 (4) 西洋倫理思想史 I・II (各2) 日本倫理思想史研究 (2) 哲学演習 A I・II・III・IV(各2) 西洋倫理思想史研究 (2) 哲学演習 B I・II・III・IV(各2) 倫理学研究 (2) 哲学演習 C I・II・III・IV(各2) 宗教と倫理学 (2) 倫理学演習 A (4) 生命と倫理学 (2) 倫理学演習 B (4) 日本の社会と文化 (2) 倫理思想史演習 A (4) 倫理思想史演習 B (4) 倫理学特殊講義 A I・II (各2) 倫理学特殊講義 B I・II (各2)				

◎は教職必修科目

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 国語

言語文化学科 日本語・日本文学履修コース

科目区分			本学認定授業科目及び単位	備考
免許教科	教科に関する科目	単位		
国語 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する科目 中学八・高校十六単位以上)	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	1 以 上	◎日本語学通論 (2) ◎日本語音声表現論 (2) ◎日本語語彙論 (2) ◎日本語文法総論 (2) ----- 日本語文章表現論 (2) 日本語史特殊研究 (2) 日本語学特殊講義 I・II (各2)	
	国文学 (国文学史を含む。)	1 以 上	◎日本文学概説 (2) 日本古典文学史論 (各2) [中古, 中世, 近世の中から2科目以上選択すること] 日本近代文学史論 (各2) [近代, 現代の中から1科目以上選択すること] ----- 日本文学論講読 (I・II・III・IV) (各2) 日本古典文学論特殊研究 (上代, 中古, 中世, 近世) (各2) 日本近代文学論特殊研究 (近代, 現代) (各2) 日本古典文学論特殊講義 (I・II・III) (各2) 日本近代文学論特殊講義 (I・II) (各2) 日本古典文学論演習 (上代 I・II) (各2) 日本古典文学論演習 (中古 I・II) (各2) 日本古典文学論演習 (中世 I・II) (各2) 日本古典文学論演習 (近世 I・II) (各2) 日本近代文学論演習 (近代 I・II) (各2) 日本近代文学論演習 (現代 I・II) (各2)	
	漢文学	1 以 上	◎中国古典文学史 (先秦～唐) (2) ◎中国古典文学史 (宋～清) (2) 日本古典文学史論 (上代) (2) 中国古典文献講読入門 (2) } (高)にあつては1科目以上選択すること 中国古典文献講読基礎 (2) ----- 中国文学古典演習 (2) 中国語学文献講読 (2)	
	(中) 書道 (書写を中心とする。)	1 以 上	◎書道 I (2) ◎書道 II (2) ※高校教諭免許では, 所要単位 (20単位・16単位) に含まれない。	

◎は教職必修科目

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 中国語

言語文化学科 中国語圏言語文化履修コース

科目区分			本学認定授業科目及び単位	備考
免許教科	教科に関する科目	単位		
中国語 必修 (単位以上・ 教科又は教職に関する科目 中学八・高校十六単位以上)	中国語学	1 以 上	◎中国語学概論 (2) ◎中国語講読 (2) ◎日中対照言語学 (2) ----- 中国語統語論 (2) 中国語文法論 (2)	
	中国文学	1 以 上	◎中国現代文学史 (2) ◎中国文学古典講読 (2) ----- 中国現代作家論 (2) 中国現代作品論 (2) 中国古典詩講義演習 (2)	
	中国語 コミュニケーション	1 以 上	◎中国語作文基礎演習 (2) ◎中国語作文応用演習 (2) ◎中国語コミュニケーション・スキル (2) ◎中国語ヒアリング基礎 (2) ----- 中国語ヒアリング演習 (2) 中国語会話演習 (2)	
	異文化理解	1 以 上	◎中国事情 (2) ----- 中国文化論 (2)	

◎は教職必修科目

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 英語

言語文化学科 英語圏言語文化履修コース

科目区分			本学認定授業科目及び単位	備考
免許教科	教科に関する科目	単位		
英語 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する科目 中学八・高校十六単位以上)	英語学	1 以上	◎英文法 I (1)(2) (各1) ◎英文法 II (2) ◎英語学入門(1)(2) (各1) ----- 英文法演習 (2) 英語学概論 (2) 英語音声学演習 (2) 英語学特殊講義 I～VIII (各2) 特別演習(言語研究方法論) I (1)(2) (各1) 特別演習(言語研究方法論) II (2) 特別演習(言語資料分析) (2)	
			英米文学	1 以上
	英語 コミュニケーション	1 以上		
			異文化理解	1 以上

◎は教職必修科目

免許状の種類 中学校教諭一種免許状 免許教科 社会

人間社会科学科 社会コース

科目区分			本学認定授業科目及び単位	備考
免許教科	教科に関する科目	単位		
社会 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する科目 八単位以上)	日本史及び外国史	1 以上	◎日本史概説 (2) ◎アジア史概説 (2) ◎日本文化史概論 (2) ◎西洋史概説 (2) ----- 教育史演習 (4)	} 人文科学 } 科科目
			地理学 (地誌を含む。)	
	「法学, 政治学」	1 以上		◎法学総論 I (2) ◎法学総論 II (2) ◎政治学総論 I (2) ◎政治学総論 II (2) ----- 教育制度演習 (4) 現代生活論 (2)
			「社会学, 経済学」	1 以上
「哲学, 倫理学, 宗教学」	1 以上	◎哲学総論 (2) ◎倫理学総論 (2) ----- 教育思想演習 (4) 教育人間学演習 (4)		

◎は教職必修科目

免許状の種類 高等学校教諭一種免許状 免許教科 公民

人間社会科学科 社会コース

免許教科	科目区分		本学認定授業科目及び単位				備考
	教科に関する科目	単位					
公民 必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する科目 十六単位以上	「法学 (国際法を含む。), 政治学 (国際政治を含む。)」	1 以上	◎法学総論 I (2) ◎政治学総論 I (2) 教育制度演習 (4)	◎法学総論 II (2) ◎政治学総論 II (2) 現代生活論 (2)			
	「社会学, 経済学 (国際経済を含む。)」	1 以上	◎社会学総論 I (2) ◎経済学総論 I (2) 教育社会学演習 (4) 文化人類学概論(1)(2) (各1)	◎社会学総論 II (2) ◎経済学総論 II (2) 社会政策論 I (2)			
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1 以上	◎哲学総論 (2) ◎倫理学総論 (2) 教育思想演習 (4) 教育人間学演習 (4)				

◎は教職必修科目

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 保健体育

芸術・表現行動学科 舞踊教育学履修コース

免許教科	科目区分		本学認定授業科目及び単位				備考	
	教科に関する科目	単位						
保健体育 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する科目 中学八・高校十六単位以上)	体育実技	1 以上	◎器械体操 (1) ◎球技 (1) ◎体づくり運動・武道 (1) ◎水泳実習 (1) ◎舞踊教育法実習 (中等教育) (1) ◎モダンダンス・テクニック (初級) (1) ◎舞踊創作法実習 (即興創作) (1) ◎舞踊創作法実習 (舞踊構成法) (1) ◎民族舞踊実習 (基礎) (1)					
			陸上競技 (1) 民族舞踊実習 (発展) (1) モダンダンス・テクニック (中級 I) (1) 舞踊上演法実習 (初級) (1) モダンダンス・テクニック (中級 II) (1) 舞踊上演法実習 (中級) (1) モダンダンス・テクニック (上級) (1) 舞踊上演法実習 (上級) (1) 舞踊創作法実習 (舞踊上演・制作) (2) 舞踊表現技法実習 (1) 日本舞踊実習 (1) バレエ実習 (1)					
			◎運動学 (運動方法学を含む) (2) ◎体育原理 (2) ◎舞踊芸術学 (2) ◎民族舞踊学(1)(2) (各1) ◎臨床舞踊論 (2)					
			スポーツ人間学(1)(2) (各1) 体育心理学 (2) スポーツ文化論演習(1)(2) (各1) 舞踊・スポーツ情報演習 (2)					
			◎生理学 (運動生理学を含む) (2) ◎動作学(1)(2) (各1) 解剖学 (2) 病理学 (2) 動作学実験演習(1)(2) (各1)					
			◎衛生学及び公衆衛生学 (2)					
	学校保健 (小児保健, 精神保健, 学校安全と救急処置を含む。)	1 以上	◎学校保健 (2) ◎学校安全と救急看護 (2)				小児保健, 精神保健を 含む。	

◎は教職必修科目

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 音楽

芸術・表現行動学科 音楽表現履修コース

科目区分			本学認定授業科目及び単位				備考
免許教科	教科に関する科目	単位					
音楽 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する科目 中学校八・高校十六単位以上)	ソルフェージュ	1以上	◎ソルフェージュ (2)				
	声乐 (合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	1以上	◎声乐基礎 (4) ◎合唱演習 I (2) 合唱演習 II (2) 声乐発展 A (4) 声乐発展 B (4) 声乐発展 C (4) 副科声乐 A (2) 副科声乐 B (2) 副科声乐 C (2) 声乐特別演習 (4) オペラ研究 A I (2) オペラ研究 A II (2) オペラ研究 A III (2) オペラ研究 A IV (2)				
	器楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	1以上	◎合奏演習 (2) ◎ピアノ基礎 (4) ◎日本音楽演奏法 (2) ピアノ発展 A (4) ピアノ発展 B (4) ピアノ発展 C (4) 副科ピアノ A (2) 副科ピアノ B (2) 副科ピアノ C (2) ピアノ特別演習 A I (2) ピアノ特別演習 A II (2) ピアノ特別演習 B I (2) ピアノ特別演習 B II (2) ピアノ特別演習 C I (2) ピアノ特別演習 C II (2) ピアノ研究演習 A I (2) ピアノ研究演習 A II (2)				
	指揮法	1以上	◎指揮法 (2)				
	音楽理論、作曲法 (編曲法を含む。) 及び音楽史 (日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	1以上	◎作曲原論 I (2) ◎作曲原論 II (2) ◎西洋音楽史 I (2) ◎西洋音楽史 II (2) ◎日本音楽史概論 (2) ◎音楽形式論 (2) ◎音楽学研究法 (2) ◎音楽学基礎演習 I (2) ◎音楽学基礎演習 II (2) ◎民族音楽学 (2) 西洋音楽史特殊講義 I (2) アジア音楽論 I (2) アジア音楽論 II (2) 音楽学研究演習 (4)			「作曲原論 I」「作曲原論 II」は、音楽理論、作曲法(編曲法を含む。)を含む。	

◎は教職必修科目

◎ 理学部

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 数学

数 学 科

科目区分			本学認定授業科目及び単位			
免許教科	教科に関する科目	単位				
数 学 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する科目 中学校八・高校十六単位以上)	代数学	1以上	◎初等代数学 2 ◎体論 2 ◎群論 1 2 ◎環論 2			
	幾何学	1以上	◎線形代数学 1 2 ◎線形代数学 2 2 ◎線形代数学 3 2 ◎線形代数学 4 2 ◎線形代数学 5 2 ◎位相空間論 1 2 ◎ベクトル解析 2 ◎位相空間論 2 2			
	解析学	1以上	◎微分積分学 1 2 ◎微分積分学 2 2 ◎微分積分学 3 2 ◎微分積分学 4 2 ◎微分積分学 5 2 ◎微分積分学 6 2 ◎関数論 1 2 ◎関数論 2 2			
	「確率論、統計学」	1以上	確率論 2 数理統計学 2 *確率序論 2	いずれか1科目以上選択		
	コンピュータ	1以上	*コンピュータシステム序論 2 計算基礎論 2	いずれか1科目以上選択		

◎は教職必修科目

*は関連科目

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 理科

生物学科

科目区分		本学認定授業科目及び単位		
免許教科	教科に関する科目	単位		
理科 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する科目 中学八・高校十六単位以上)	物理学	1以上	◎物理学概論A 2 (物理学科) ◎物理学概論B 2 (物理学科)	
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	◎物理学基礎実験 2 (物理学科)	
	化学	1以上	◎化学概論A 2 ◎化学概論B 2	
	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	◎化学基礎実験 2 (化学科)	
	生物学	1以上	◎生化学 2	◎植物生理学 2
			◎生物物理学 2	◎基礎遺伝学 2
			◎動物系統学 2	◎細胞生物学 2
			◎植物系統学 2	◎動物生理学 2
			◎発生生物学 2	◎生物統計学 2
	1以上	◎進化生物学 2	◎生物学演習 I 2	
◎代謝生物学 2		◎生物学演習 II 2		
◎分子遺伝学 2				
分子細胞情報学 2		バイオメカニクス(1)(2)各1		
細胞生化学 2		植物生理学(1)(2) 各1		
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	進化遺伝学 2	植物機能制御学 2	
		発生遺伝学(1)(2) 各1	動物環境応答学(1)(2) 各1	
		分子構造生物学(1)(2) 各1	生物系統地理学 2	
		遺伝子工学(1)(2) 各1		
		◎生物学実習 I 2	◎生物学実習 II 2	
		植物系統学実習 1	細胞生化学実習 1	
		基礎遺伝学実習 1	発生生物学実習 1	
		分子遺伝学実習 1	動物生理学臨海実習 1	
		細胞生物学実習 1	動物系統学臨海実習 1	
		植物生理学実習 1	発生生物学臨海実習 1	
代謝生物学実習 1	植物系統学臨海実習 1			
動物生理学実習 1	生命情報プログラミング演習 1			
		分析・光学機器実習 1		
地学	1以上	◎地史・古生物学概論 2		
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	◎地学基礎実験 2 (物理学科)		

◎は教職必修科目

・実験の履修方法

- 中学校 物理学, 化学, 生物学, 地学の全ての実験を履修すること。
- 高等学校 物理学, 化学, 生物学, 地学のうちどれか1つを履修すること。

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 数学

情報科学科 数学コース

科目区分		本学認定授業科目及び単位		備考
免許教科	教科に関する科目	単位		
数学 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する科目 中学八・高校十六単位以上)	代数学	1以上	◎数理基礎論 2	}数学科開講科目
			◎離散数学 2	
			初等代数学 2	
			位相空間論 2	
	幾何学	1以上	グラフと理論 2	
			暗号と符号 2	
			組み合わせ論 2	
			◎線形代数学 1 2	
	解析学	1以上	◎線形代数学 2 2	
			◎線形代数学 3 2	
◎線形代数学 4 2				
◎線形代数学 5 2				
◎微分積分学 1 2				
「確率論, 統計学」	1以上	◎微分積分学 2 2		
		◎微分積分学 3 2		
		◎微分積分学 4 2		
		◎微分積分学 5 2		
		関数論 1 2		
		微分積分学 6 2		
コンピュータ	1以上	情報解析学 2		
		微分方程式論 2		
		◎確率序論 2		
		数理統計学 2		
		◎計算基礎論 2		
		コンピュータシステム序論 2		
		計算機代数演習 2		

◎は教職必修科目

免許状の種類 高等学校教諭一種免許状 免許教科 情報

情報科学科 情報コース

科目区分		単位	本学認定授業科目及び単位	備考
免許教科	教科に関する科目			
情報 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する科目十六単位以上)	情報社会及び情報倫理	1以上	◎情報倫理 2	
	コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	1以上	◎データ構造とアルゴリズム 2	
			◎マルチメディアプログラミング実習 2	
			◎環境情報論 2	
			コンピュータアーキテクチャI 2 コンピュータアーキテクチャII 2 コンパイラ構成論 2 プログラミング実習 2 言語理論とオートマトン 2 人工知能論 2 数値計算 2 数値計算演習 2 関数型言語 2 コンピュータ基礎演習 2	
情報システム(実習を含む。)	1以上	◎データベース設計論 2 ◎データベースシステム 2 ソフトウェア工学 2		
情報通信ネットワーク(実習を含む。)	1以上	◎コンピュータネットワークI 2 ◎システムプログラミング実習 2 情報理論 2		
マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	1以上	◎マルチメディア 2 ◎コンピュータグラフィックス 2 コンピュータビジョン 2 シミュレーション科学 2		
情報と職業	1以上	◎情報と職業 2		

◎は教職必修科目

◎ 生活科学部

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 家庭

人間生活学科 家庭コース

科目区分		単位	本学認定授業科目及び単位	備考
免許教科	教科に関する科目			
家庭 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する科目 中学校八・高校十六単位以上)	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)	1以上	◎家族関係論 2 生活経営学 2 消費者経済学 2 家族社会学(1)(2) 各1 家族法 2 生活経済学 2	◎家政経済学概論 2 消費者教育論 2 労働経済学総論 2 生活法学 2 老年学 2 比較家族思想史 2
	被服学(被服製作実習を含む。)	1以上	◎被服学概論 2 服飾制作実習 1 被服製作実習 1	いずれか1科目以上選択
	被服学(被服製作実習を含む。)	1以上	服飾史I 2	服飾文化各論 2
			服飾史II 2	服飾文化論基礎演習 2
			服飾史論(1)(2) 各1	服飾文化論演習 2
服飾史資料論(1)(2) 各1			服飾文化実習 1	
被服学(被服製作実習を含む。)	1以上	服飾美学概論 2	西洋服飾論 2	
		服飾美学各論 2	日本服飾論 2	
		服飾文化概論 2	日本服飾史演習I 2	
			日本服飾史演習II 2	
食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	1以上	◎食物学概論 2 調理実習 1 基礎調理学実習 1	いずれか1科目以上選択	
食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	1以上	国際栄養学 2	食糧経済学 2	
		食生活史 2		
		公衆栄養学 2	食品衛生学 2	
		調理科学 2	食品化学 2	
食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	1以上	食品製造・保存学 2	食品機能論 2	食物栄養学科 学部共通科目
(中)住居学	1	◎住居学概論 2	◎建築環境計画論 2	学部共通科目
(高)住居学(製図を含む。)	1以上	建築環境工学 2 環境衛生学(1)(2) 各1	機器分析演習(1)(2) 各1 環境材料物性(1)(2) 各1	人間・環境科学科
(中)保育学(実習を含む。)	1以上	◎児童学概論 2	◎家庭看護学 2	
(高)保育学(実習及び家庭看護学を含む。)		◎保育実践論 2		
人間関係学 2		発達臨床基礎論I 2		
保育臨床実習 2		発達臨床基礎論II 2		
発達臨床心理学II 2		発達臨床基礎演習II 2		
心理臨床学 2				
児童社会文化論 2				
(高)家庭電気・機械及び情報処理	1以上	◎家庭機械及び家庭電気 2 応用生活統計学(1)(2) 各1 (情報処理) 社会統計学I 2 (情報処理) 社会統計学II(1)(2) 各1 (情報処理) 応用統計学 2 (情報処理)	いずれか1科目以上選択	学部共通科目
	1以上	心理統計法(理論) 2 (情報処理) 心理統計法(実践) 2 (情報処理)		

※中学校教諭免許では所要単位(20単位・8単位)に含まれない。

◎は教職必修科目

5. 栄養教諭一種免許状

生活科学部食物栄養学科に所属する学生は、栄養教諭一種免許状を取得することができます。
 なお、教職に関する科目（栄養教育実習および教職実践演習（栄養教諭）を除く）については、他の免許状を取得するための教職に関する科目（本冊子7頁参照）と共通のものです。

基礎資格および最低修得単位数

教育職員免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数	
		栄養に係る教育に関する科目	教職に関する科目
栄養教諭一種	学士の学位を有すること、かつ管理栄養士の免許を受けていること又は指定された管理栄養士養成施設の課程を修了し、栄養士の免許を受けていること。	4単位	18単位

教職に関する科目

科目	各科目に含める必要事項	認定科目・単位	
教職の意義等に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種機会の提供等 	2単位	○教職概論(1)(2) 各1計2
教育の基礎理論に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 	6単位 (免許法では4単位)	○教育原論（思想・歴史）(1)(2) 各1計2 ○教育心理 2 ○教育原論（社会・制度）(1)(2) 2
教育課程に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の意義及び編成の方法 ・道徳及び特別活動に関する内容 ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） 	8単位 (免許法では4単位)	○教育課程論 2 ○道徳教育の研究(中等) 2 ○特別活動の研究(中等) 2 ○教育方法論 2
生徒指導及び教育相談に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 	4単位	○生徒指導の研究(中等)(1)(2) 各1計2 ○学校カウンセリング(中等) 2
栄養教育実習		2単位	○栄養教育実習 2
教職実践演習		2単位	○教職実践演習(栄養教諭) 2

◎ 栄養教諭は、教育職員免許法では「教育の基礎理論に関する科目」及び「教育課程に関する科目」の必要単位数がそれぞれ4単位ずつとなっているが、「各科目に含めることが必要な事項」を全て網羅する必要があるため、本学では前者を6単位、後者を8単位修得する必要がある。

栄養に係る教育に関する科目

各科目に含める必要事項	認定科目・単位	
<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 ・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 ・食生活に関する歴史的及び文化的事項 ・食に関する指導の方法に関する事項 	2単位	○学校栄養教育論 I 2
	2単位	○学校栄養教育論 II 2

III. 介護等体験

平成10年4月より、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」が施行されました。これは、「教員が個人の尊厳および社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性と教員の資質向上および学校教育の一層の充実を図る」観点から設けられた、とされています。

これにより、小学校および中学校の教員免許状取得には、関係法令等で指定された特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間、計7日間の介護等体験が義務付けられました。（幼稚園、高等学校、または栄養教諭の教員免許状のみ取得希望者は、対象外です。）

文部科学省によると、介護等体験の内容は、「障害者、高齢者等に対する介護、介助のほか障害者等の話相手、散歩の付添いなどの交流等の体験、あるいは掃除や洗濯といった、障害者等と直接接するわけではないが、受入施設の職員に必要とされる業務の補助など、介護等体験を行う者の知識・技能の程度、受入施設の種類の種類、業務の内容、業務の状況等に応じ、幅広い体験が想定される」となっています。

本学では、3年次に介護等体験を行います。学業への影響・派遣学生の経済的負担を考慮して、当面は市内の特別支援学校および東京都内・関東近県の社会福祉施設へ派遣することとしています。

また、社会福祉施設での介護等体験には、申込み時に¥7,500～¥10,260の費用がかかります。これ以外にも、体験中の昼食費・交通費・施設入場料等も学生個人の負担となります。

IV. 教員免許状の授与

教員免許状は、取得要件を満たした学生が、居住する都道府県の教育委員会に申請することで授与されます。

しかし、本学の所在する東京都では、免許状を申請する学生数が特段に多いので、所属する大学で申請希望者をまとめて教育委員会に申請する、大学一括申請を行っております。

教職課程履修学生は、4年次4月に卒業単位確認とともに、免許状の単位の取得漏れが無いようによく確認しておいてください。

1. 大学一括申請

4年次7月ごろに1回目の手続きを行います。この時に、免許状に表記する氏名の漢字、本籍地を確認するため、また法規上の欠格条項に該当しないことを確認するために、本籍地が所在する役所の住民課等で発行する身分証明書（学生証・運転免許証等とは違うものです。）が必要です。時期になりましたら、掲示でご案内します。

次に12月ごろになると、2回目の申請手続きを行います。この時は、宣誓書に署名・捺印するので、印鑑が必要となります。（シャチハタ等の簡易印は使用できません。）また、申請手数料も徴収します。（免許状申請件数に応じて¥3,300～¥9,900程度。今後変更の可能性あり。）

以上2回の手続きを漏れなく行くと、卒業式当日に教員免許状をお渡しできます。

なお、手続き方法や申請手数料等は、東京都教育委員会の方針変更で改定になる可能性があります。学内掲示で連絡しますので、ご注意ください。

2. 個人申請

4年次に一括申請の手続きを行わなかった方は、卒業後に個人で教育委員会に申請することになります。卒業時に必要な単位を漏れなく修得していれば、卒業後いつでも申請できます。しかし、申請から授与までは1ヶ月以上かかることが多く、特に2月～3月は、申請が集中する時期ですので、4月からの採用に支障が生じることもあります。ですから、教職課程履修学生は、なるべく在学中に一括申請で免許状を取得するようにしてください。

なお、個人申請の場合には、居住する都道府県の教育委員会に申請することになりますが、都道府県ごとに手続きの仕方が異なりますので、担当部局にお問い合わせを確認してください。

また、教員免許状は一度授与されると二度と発行されません。一括申請でも個人申請でも同じです。あやまって紛失することの無いように厳重に保管してください。特に転居時に紛失する例が多いようです。

V. 教職課程履修スケジュール

下の表は、4年間のおおまかなスケジュールです。この表は予定ですので、法規改正や学内の都合等で変更になる可能性があります。

なお、教職課程に関する連絡は、全て掲示で行います。学生センター棟の前にある屋外掲示板には教職課程の連絡コーナーがあります。教職課程に関する連絡は、全てここに掲示します。必ず一日一度は掲示を確認し、手続き等に漏れが無いようにご注意ください。

学年	時期	事 項
1年次	4月	● 新入生オリエンテーション ● (教職に関する科目を履修)
	6月	● 教育実習申込 (web で登録)
2年次	10月	● 教職課程説明会 ▲ 介護等体験説明会
	2月	▲ 介護等体験申込手続 ▲ 介護等体験事前指導
		4月
3年次	5月	■ 第1回 教育実習大学側事前指導 (教育実習配属先決定) ■ 第2回 教育実習大学側事前指導 (中・高) (幼・小・栄)
	6月～	▲ 介護等体験実施 (特別支援学校2日間, 社会福祉施設5日間)
	9月	■ 出身学校教育実習内諾締切
	11月	■ 附属学校教育実習履修届提出
	1月	■ 附属幼稚園教育実習事前指導
	2月	■ 附属小学校教育実習事前指導 ■ 出身学校教育実習派遣手続説明会 ▲ 介護等体験事後指導
		4月
4年次	5月	■ 第3回 教育実習大学側事前指導 (幼・小・栄)
	5月～	■ (中・高) 教育実習事前指導
	6月	■ 附属小学校教育実習 (4週間) および事後指導 ■ 附属幼稚園Ⅰ期教育実習 (2週間) および事後指導
		7月
	9月	■ 附属中・高Ⅱ期教育実習 (3週間) および事後指導, 栄養教育実習 (事前参観1週間, 本実習1週間および事後指導) ■ 附属幼稚園Ⅱ期教育実習 (2週間) および事後指導
		10月
	後期	■ 教職実践演習履修
12月	★ 教員免許状一括申請手続	
3月	★ 卒業式当日に教員免許状配布	

《凡例》 ●：教職課程全般に関する事
▲：介護等体験に関する事
■：教育実習に関する事
★：教員免許状一括申請に関する事

IV. 教員免許状の授与

ホームページで公開されている資料

本学は、教員免許状の授与に当たっては、申請者の資力や志願する教職の種別に応じて、必要と認められる科目の履修を求め、その履修状況を審査し、合格した者に対しては、教員免許状を授与する。また、本学は、教員免許状の授与に当たっては、申請者の資力や志願する教職の種別に応じて、必要と認められる科目の履修を求め、その履修状況を審査し、合格した者に対しては、教員免許状を授与する。

種別	科目	単位	備考
初級・中級	教育心理学(Ⅰ)	1	●(履修)
	教育心理学(Ⅱ)	1	
	教育心理学(Ⅲ)	1	
	教育心理学(Ⅳ)	1	
	教育心理学(Ⅴ)	1	
	教育心理学(Ⅵ)	1	
	教育心理学(Ⅶ)	1	
	教育心理学(Ⅷ)	1	
	教育心理学(Ⅷ)	1	
	教育心理学(Ⅷ)	1	
初級・中級	教育心理学(Ⅰ)	1	●(履修)
	教育心理学(Ⅱ)	1	
	教育心理学(Ⅲ)	1	
	教育心理学(Ⅳ)	1	
	教育心理学(Ⅴ)	1	
	教育心理学(Ⅵ)	1	
	教育心理学(Ⅶ)	1	
	教育心理学(Ⅷ)	1	
	教育心理学(Ⅷ)	1	
	教育心理学(Ⅷ)	1	
初級・中級	教育心理学(Ⅰ)	1	●(履修)
	教育心理学(Ⅱ)	1	
	教育心理学(Ⅲ)	1	
	教育心理学(Ⅳ)	1	
	教育心理学(Ⅴ)	1	
	教育心理学(Ⅵ)	1	
	教育心理学(Ⅶ)	1	
	教育心理学(Ⅷ)	1	
	教育心理学(Ⅷ)	1	
	教育心理学(Ⅷ)	1	

●(履修) 履修済みの科目
▲(履修) 履修中の科目
○(履修) 履修予定の科目
★(履修) 履修済みの科目

